

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況（技術情報第10号）について（送付）

トビイロウンカの飛来状況及び防除対策については、平成21年7月30日付け病防第64号で技術情報を発表しましたが、その後の発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用下さい。

記

1 トビイロウンカの払い落とし調査

(1) 7月28、30日に県内20地点で行った払い落とし調査では、一株当たりの成幼虫数は、早期・早植え水稻で0.02頭と過去3カ年の平均（0.15頭）より少なかった。普通期水稻では、0.02頭と過去3カ年の平均（0.05頭）よりやや少なかった（表1,2）。

今回調査したほ場すべて、要防除水準には達していなかった。

(2) 県予察ほ（農研センター内の無防除田の普通期水稻）での8月6日の払い落とし調査では、一株当たりの成幼虫数は0.98頭と平年（0.19頭）より多かった（表3）。

2 トビイロウンカの次世代予測と防除対策

(1) 要防除水準は8月中～下旬が1頭/株、収穫30日前が3頭/株である。本虫は増殖率が高く、現在は低密度に見えても8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがあるため、各ほ場での発生量及び発育ステージを確認し、要防除水準を超えたら防除する。

(2) 本年は6月24日に初飛来し、7月2日および7月25日に飛来のピークが認められた。飛来時期から予測される今後の防除適期（幼虫ふ化期）は次のとおりである。

ア 早植え水稻

6月24日飛来：8月21～27日

7月2日飛来：8月29～9月4日

7月25日飛来：8月14～20日

予測には阿蘇乙姫のアメダスデータを使用

イ 普通期水稻

6月24日飛来：9月3～9日

7月2日飛来：8月14～20日、9月11～17日

7月25日飛来：8月9～15日、9月5～11日

予測には熊本市のアメダスデータを使用

(3) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

表1 トビイロウンカ払い落とし調査(7/28~30)
一株当たり頭数

地点名			成虫	幼虫
早期・早植え	阿蘇市内牧	巡	0.00	0.00
	阿蘇市一の宮町坂梨	巡	0.00	0.00
	南阿蘇村河陰		0.04	0.00
	南阿蘇村下野	巡	0.04	0.00
	八代市郡築		0.04	0.00
平均(5地点)			0.02	0.00
計(成虫・幼虫)			0.02	
普通期	熊本市画図	巡	0.04	0.02
	熊本市中無田	巡	0.00	0.00
	熊本市富含町新	巡	0.00	0.00
	玉名市北牟田		0.00	0.00
	玉名市横島	巡	0.00	0.00
	山鹿市南島	巡	0.00	0.00
	菊池市赤星	巡	0.04	0.04
	大津町新	巡	0.08	0.00
	嘉島町下仲間	巡	0.00	0.00
	八代市高田	巡	0.00	0.02
	八代市鏡町		0.00	0.00
	八代市千丁町		0.00	0.00
	氷川町若洲1	巡	0.00	0.00
	氷川町若洲2		0.00	0.00
	芦北町芦北		0.06	0.00
平均(15地点)			0.01	0.01
計(成虫・幼虫)			0.02	

- 1 1地点につき、1~2ほ場調査(1ほ場25株、2ほ場調査は1ほ場当たり平均)
- 2 「巡」は巡回調査地点

表2 過去のトビイロウンカ払い落とし調査結果(7月下旬~8月上旬)
一株当たり頭数

年度	早期・早植え	普通期	晩期
2006	0.20	0.05	0.02
2007	0.22	0.10	0.01
2008	0.02	0.00	0.00
平均	0.15	0.05	0.01
2009	0.02	0.02	-

表3 県予察ほ普通期水稻の払い落とし調査(農研センター内の無防除田:8月6日調査)

年度	成虫	幼虫	合計
2009	0.10頭/株	0.88頭/株	0.98頭/株
平年(H15~20)	0.01頭/株	0.18頭/株	0.19頭/株

【参考 7月中旬～8月下旬のトビイロウンカ発生状況】

作型	7月中～下旬	8月上旬	8月中～下旬
早期・早植	本年 0.09頭/株	本年 0.02頭/株	本年 -
	前年 0.00頭/株	前年 0.02頭/株	前年 0.24頭/株
	平年 0.04頭/株	平年 0.15頭/株*	平年 0.92頭/株
普通期	本年 0.01頭/株	本年 0.02頭/株	本年 -
	前年 0.00頭/株	前年 0.00頭/株	前年 0.00頭/株
	平年 0.01頭/株	平年 0.05頭/株*	平年 0.06頭/株

* 8月上旬の平年は2006年～2008年の平均